

## Ⅱ (1) 青少年の社会参加をうながすプログラム（単発講座）

### テーマ／青少年の地域社会参画

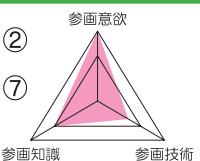
## 4 「遊び×(子ども+地域のお兄さん・お姉さん)=絆+育ち合い」

参加対象：子どもの遊び環境の充実（プレイパーク）に関する高校生・大学生・社会人  
募集人員：10名程度 会 場：市町公民館、児童館、コミュニティーセンター等



### 養われる 地域 参画力

- 近所の住民とつきあったり、地域の子どもたちに声をかけたりすること ②
- 自分が一方的に話さずに、相手の話にしっかり耳を傾けられること ⑦
- 地域で活動している人や団体などに関する情報をもっていること ⑯



### 講座全体のねらいと流れ

子どもの遊び環境の充実に関する青少年が集う機会を提供し、子どもたちの遊びを温かいまなざして支える青少年ボランティアの育成を図る。

アクティビティ① 「遊び場（プレイパーク）」って何だろう 【70分】

アクティビティ② 「遊び場（プレイパーク）のイメージ」を共有しよう。 【60分】

アクティビティ③ 「遊び場（プレイパーク）」を運営するためのシミュレーションをしよう 【50分】

### 「遊び場（プレイパーク）」って何だろう 【70分】

#### 準備物

事例発表者資料  
ワークシート

#### ねらい

現代の子どもたちに“遊び”がどうして必要なのか、お互いに思いを伝え合う。

- ① 積極的に活動する他市町プレイパーク担当者に事例発表をお願いする。その後、感想を発表し合う。
- ② 子どもが生き生き遊ぶポイント（※下注）を、一人5つずつキーワードの形で記入する。
- ③ 黒板に掲示し全員で眺めながら話し合う。

#### アドバイス

あらかじめ、現地の様子を撮影した映像等を準備するとよいでしょう。

#### アドバイス

全員が見やすいように、大きめな紙に、大きな字で記入しましょう。



【注】：「安全で楽しく活動できる遊び場の条件とは」「子どもと交流する時の留意点は」など、多様な視点からキーワードが出されるように促すとよい。

☞ 予想されるキーワード：「子どもの発想」「おしつけない」「少しの危険を残す」「禁止しない」「温かいまなざし」 etc.

### コラム プレイパークとは？

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに掲げた子どもの遊び場。1975年、世田区羽根木に、地域住民の手により、日本で初めてのプレイパークが誕生。プレイリーダーと称される地域の大人が後方支援を行い、子どもの遊び心を刺激する。

### 参考

天野秀昭氏  
「子どもは大人の育ての親」  
2006.3  
発行元／ゆじょんと

### 「遊び場(プレイパーク)のイメージ」を共有しよう 【60分】

#### ねらい

子どもの遊び心を刺激するプレイパークのイメージを互いに練りあうことができる。

- ① 遊び場の設置を予定している、公園等の敷地図を見ながら、「こんな遊び場あったらいいな」(イメージ図)を3人程度のグループになってつくる。  
(例:下図参照。言葉でも絵でもよい。)
- ② 各グループのイメージ図を黒板に掲示して、グループ間での意見交換、情報の共有をする。

- 木のぼり
- ブランコ
- 焚火
- ハンモック
- 巣づくり
- 秘密基地



- 落葉ベット
- 縄渡り

- 泥だんご
- じゃぶじゃぶ池
- 田んぼドッジボール
- 穴掘り
- 泥すべり



#### 準備物

画用紙、マジック、筆記用具

#### アドバイス

他者の意見を否定せず、質より量を重視して、どんどん意見を出し合いましょう。

#### アドバイス

茶菓子を準備するなど、意見を言いやすい温かな雰囲気づくりに努めましょう。

#### アドバイス

活動場所として予定している公園の設備等についてあらかじめ把握し、各関係機関と確認及び調整をしておきましょう。

### 「遊び場（プレイパーク）」を実際に開くための話し合いをしよう 【50分】

#### ねらい

子どもの遊び心を刺激するプレイパークを開くために必要なことについて、行政担当者と打ち合わせする。

- ① 実施にむけて疑問に感じたこと、不安に感じていることを、行政担当者に質問する。
- ② 作成したイメージマップをもとに、実現できそうなアイデアを2～3絞り込む。
- ③ 実施予定日、地域内への周知方法、準備担当者などを確認します。

#### 準備物

ワークシート  
筆記用具

#### アドバイス

参加者の不安な気持ちを受け止めつつ、プラスの言葉で励ましながら話し合いをしましょう。

#### アドバイス

初めから大々的に開かず、小さな成功体験を積みながら、徐々に活動幅を広げていけるように助言しましょう。

## Ⅱ (1) 青少年の社会参加をうながすプログラム（単発講座）

### 付随して期待される効果

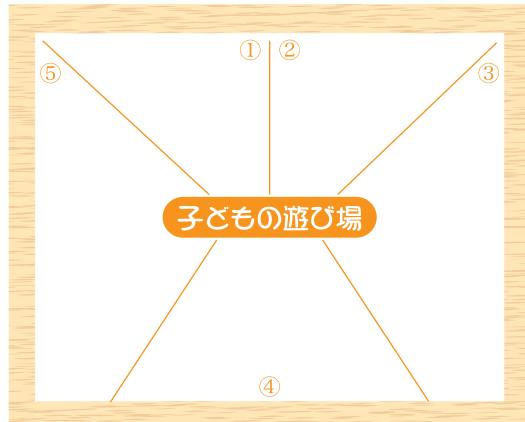
- ・「子どもの遊び」をキーワードとした大人のつながりが地域の中に広がり、地域全体で子どもを育てていこうとする気運が高まっていくことが期待されます。
- ・子どもの遊びに対して温かいまなざしを向ける大人との交流により、子どもたちの学びや育ちがより豊かになることが期待されます。

### ワークシート

#### 「遊び×(子ども+地域のお兄さん・お姉さん)=絆+育ち合い」 ～プレイパークを企画しよう～

##### ステップ1 プレイパークって何だろう？

➡ 事例発表を聞き、私はこんなふうにとらえました。



##### ステップ2 プレイパークのイメージを共有しよう。

キーワード

キーワード

##### ステップ3 プレイパークを開くための話し合いをしよう。

①行政担当者に質問したいこと

-----

②実施予定日は？

-----

③地域内への周知方法は？

-----

④準備担当者は？

-----

⑤その他、確認することは？

-----